

「瀬戸内・松山」構想

広島地域との連携による「瀬戸内」をテーマとした旅行を提案しています。

瀬戸内海道1号線

宮島・広島・呉ー松山を
結ぶ海上ルート



「瀬戸内・松山」構想

日本初の国立公園である瀬戸内海。特に、広島と愛媛・松山を結ぶエリアは、「多島美」に代表される島々が織りなす魅力が集まり、風光明媚な風景とそこで育まれた歴史、文化、産業など多様な資源の宝庫です。

その周辺には、世界遺産「厳島神社」、「原爆ドーム」、かつての軍港の面影を残す「呉」、日本最古の名湯「道後温泉」など日本を代表する観光スポットがあり、多くの観光客から高い評価を得ています。

広域観光戦略として掲げる「瀬戸内・松山」構想とは、瀬戸内海が有する魅力を最大限に引き出し、広島地域の資源と愛媛・松山の資源を組み合わせ、そして磨き上げながら、瀬戸内を周遊する新しいツーリズムを創造、提案していきます。

近年、瀬戸内・松山地域の文化的価値が海外で再評価されたことで大きな注目を集め、世界の中でも特に行くべき場所として「SETOUCHI」が評価されています。

今後も、国内外の観光客に向けて魅力を発信し続けるほか、様々な事業を実施していくことで、年齢、性別、国籍などに関わらず、すべての人が楽しめる旅行先を目指して…。